

② 大館南地区 【水土里ネット二井田真中】

地元中学校の農園活動を支援 “キーワードは「地域・環境・守る」”

恒例行事として定着した学校農園活動も、今年で8年目を迎えました。生徒たちにはマルチ掛け作業と、苗植え体験などの指導を行いながら、水の管理や雑草対策、収穫作業などの農作業体験をしてもらい、管理の重要性や環境保全に繋がることへの大切さと、自分たちの住んでいる地域や土地改良区の役割などに関心を持ってもらいました。

今年度は地元よりコーディネーターの方々が参加、協力を得ながら「えだ豆」、「やまのいも」、「さつまいも」の3種類を植え、1時間ほどで作業は終了しました。

夏には「えだ豆」の収穫体験、秋には収穫した「さつまいも」や「やまのいも」を取り入れたレシピで保護者を招いて味わう「なべっこ遠足」で締め括り、24年度の農園活動も無事に終了しました。

学校農園活動を行う中学校は少なくなっているようですが、今後とも活動の支援を続けながら水土里ネットの役割や環境保全への一層の理解、認識を深めてもらえるよう運動を継続していきたいと思っています。



活動体制	
実施主体	水土里ネット二井田真中（大館市二井田真中土地改良区）
後援・連携	大館市立南中学校
実施期間	6月～10月
参加者	大館市立南中学校 生徒73名
報道関連	北鹿新聞
活動実施年数	8年（H17年～）
連絡先	〒018-5751 大館市二井田字高村56 大館市二井田真中土地改良区 TEL. 0186-49-5010
その他	奨励賞（H22）

【活動内容に対する自己評価】 水土里ネット二井田真中（菅原恵里子）					
○活動の目標及び達成率	目標	農園活動を通じた地域の環境と水土里ネットの役割への理解			
	達成率	75%			
○活動に対する評価	・「地域・環境」という共通の目的をもって、中学校との連携体制が定着している。				
判定基準	自己判定（達成度）		判定基準	自己判定（達成度）	
	判定	評価等		判定	評価等
1. 取組体制について			④運動のPR	B	新聞等に掲載
①役職員・組合員の参加	B	活動に対する理解の定着	4. 運動の成果		
②後継者育成の工夫	B	地域の環境と役割について理解を深めてもらうため活動を継続的に行っている	①他組織との連携構築	C	学校との連携
2. 活動の意味性について			②地域住民等の理解	B	生徒を通して理解を深めている
①基本理念の設定	A	作る事により地域や環境が守られていることへの理解	③施設管理・地域資源の保全強化	C	生徒の理解を深め将来の保全につなげたい
②地域の歴史等の伝承	C	—	④運動の地域づくりへの関わり	A	継続していくことで関わりを深めている
③運動の先駆性	C	—	⑤農地・水・環境保全向上対策への貢献	A	活動組織の役員として参加、活動に必要な資料や地図を作成して提供
3. 運動の継続性・発展性			⑥地域農業振興への貢献	C	活動を通じて地域農業について理解と関心を深めてもらい将来の担い手につなげたいと思う
①運動の継続性	A	今後も継続していきたいと考えている	5. 今後の課題等について		
②運動の発展・拡大	D				
③運動の計画性	A	年度当初に学校側と計画を立案			

（自己判定）A：大いに達成している B：達成している C：少しは達成している D：達成していない E：その他